

I年生:基礎看護学実習 I（環境と患者理解）後期

初めて患者さんを受け持ち、
コミュニケーションをとり、
看護技術を提供しました！

1年次の11月、4日間の病棟実習を行いました。この実習では、初めて受け持ち患者さんを担当し、観察をしコミュニケーションをとりながら関係を築き、患者さんを少しでも理解できるように努めました。そして、今まで学校で学んだ知識・技術を元に、患者さんのニーズや状態に合わせた看護技術を考え提供しました。実際にやってみると難しく失敗もありましたが、貴重な体験を振り返り、とても勉強になりました。



←患者さんが快適に入院生活を送れるよう、ベッド回りを掃除し整理整頓しました。



入浴できない →
患者さんの
手を洗いました。



←病室に行く以外は
ナースステーションで
計画の修正や看護技術
実施後の記録などを
しています。



←看護師さんに
計画発表や報告を行いました。
とても緊張！

実習からの帰り道 →
あー大変だった！でも、すごく勉強になった！
皆すがすがしい顔



4日間の病棟実習を終え、学内でまとめの会を開き、学びを共有しました。



自分が必要だと思って勧めた援助を患者さんに同意してもらうことの難しさを学んだ。その援助の根拠を明らかにし、患者さんに理解してもらうよう説明する事が大切。それができる知識をつけたい。

1つの援助でも、目的や方法は多岐にわたる。患者さんに合わせた援助を行うことは患者さんとの信頼関係を築くことに繋がると考えた。

それぞれの患者さん状態に応じて、援助方法を考え実践することが必要！患者さんができるだけ早く自立できるように患者さんのできることとできないことを判断し、退院を見すえて日常生活動作の回復に努める。

患者さんに気を使わせてしまった。もっとコミュニケーションがうまく図れるようにになりたい。

援助することに一生懸命になってしまい、患者さんへの配慮が欠けていた。患者さんの反応を見ながら援助しなければ。

実践できたことできなかったことをしっかりと区別して、できなかったことは、「どうすれば次にできるか」を考える



広島県看護教員養成講習会 から楠奥絵利加先生が 来られました。

広島県看護教員養成講習会から、岡山
赤十字看護専門学校へ教育実習にきました。
3週間という短い期間に、「授業も実習も
やってこい」と武者修行に出されました。
右も左も分からない私を、温かく見守り、
ご指導してくださった先生方に感謝いたし
ます。授業や指導の難しさ、先生方の温か
い言葉かけ、学生の温かい心に感動し、こ
の教育実習では3回も泣いてしまいました。

私も、もう一度この学校に行き直し、看
護師の心を磨きたくなりました。時に厳し
いけれど、温かい心を持っている先生方ば
かりで、全員が私の師です。玄馬先生から
いただいた言葉「自分らしく」を大切にし
て、これからも教員として学び続けていき
たいと思います。
ありがとうございました。

3週間の教育実習お疲れ
様でした。実習中に優し
い言葉をかけていただき、
その度に前向きに考える
ことができました。

楠奥先生の指導を大切に
し、今後の学習に生かし
ていこうと思います。
本当にありがとうございました。
(^O^)



写真前列中央が楠奥先生